第60回男子・第33回女子 全日本大学ホッケー選手権大会

開催日時 10 月 31 日 (月) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 〈Aコート〉

女子 第1試合 9:30	同志社大学	1 $\begin{pmatrix} 0 - 4 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$ 6	駿河台大学
女子 第2試合 11:00	北海道大学	$0 \left(\begin{array}{c} 0 - 3 \\ 0 - 3 \end{array} \right) 6$	大阪体育大学
男子 第3試合 12:30	山梨学院大学	1 (0 - 0	早稲田大学
男子 第4試合 14:00	東海学院大学	3 (2 - 2) 1 - 1) PS 2-4	明治大学
男子 第5試合 15:30	学習院大学	2	甲南大学
男子 第6試合 17:00	東京大学	1 $\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$ 2	富士大学
√B⊐−F〉			
女子 第1試合	聖泉大学	4 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0	東海大学
女子 第2試合 11:00	早稲田大学	$0 \begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ PS & 7-6 \end{pmatrix} 0$	東京農業大学
男子 第3試合 12:30	東京農業大学	1 (0 - 0	立命館大学
男子 第4試合 14:00	天理大学	3 (1 - 1	法政大学
男子 第5試合	関西学院大学	1	駿河台大学
17:00		PS 4-2	

【各試合の結果・詳細】

Aコート 女子 第1試合

く得点>

同志社 : 69分 朝倉

駿河台 : 3分 46分 鈴崎、11分 小杉、32分 狩野、35分 山本、67分 國廣

く戦評>

駿河台大学のセンターパスにより試合が開始された。3分PCを取得した駿河台は#16鈴崎がドラッグで1点目を決める。更に、11分#21小杉が2点目を決め勢いに乗る。同志社大学も粘り強い守備を見せる。しかし、駿河台の攻撃は緩まず、32分#2狩野、35分#4山本がPCから得点し、0-4で前半戦を折り返した。

後半になっても駿河台の攻撃が続く。同志社も速攻からPCを取得し、チャンスを得るが、惜しくも得点には結びつかない。駿河台は落ち着いたプレーを続け、46分PCを取得。#16鈴崎が確実に決める。67分には、駿河台#13國廣が6点目を挙げる。試合はこのまま終了するかと思われたが、69分同志社はPCを取得し、#2朝倉がストレートで1点を返した。1-6で駿河台が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	草野 妥彦	マンパイマ	谷川 昌子
ジャッジ	櫻本 一幸	アンハイア	木村 考利

Aコート 女子 第2試合

$$-$$
 北海道大学 $0\begin{pmatrix}0-3\\0-3\end{pmatrix}$ 6 大阪体育大学

<得点> 北海道

大阪体育 : 15分 41分 前田、25分 32分 佐藤、53分 野鹿瀬、60分 谷川

<戦評>

北海道大学のセンターパスにより前半戦が開始された。両チームなかなかチャンスを作ることが出来ない。15分大阪体育大学はPCを取得。#7前田がタッチシュートを決め、先制点を挙げる。流れを掴んだ大体大は25分#6佐藤がスライディングシュートを決め、2点目を挙げる。対する北海道は、粘り強い守備を見せるが、32分大体大#6佐藤がPCで得点し、0-3で前半を折り返した。

後半に入っても大体大の勢いは止まらず、41分PCを取得。#7前田が2度目のタッチシュートで得点を挙げる。53分#8野鹿瀬が追加点を挙げ、60分#14谷川がGKの間を抜けたパスを受け、無人のゴールに決めた。0-6で大体大が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	苅谷 和代	マンパイマ	宇井 理恵
ジャッジ	平沢 美由紀	1 12/14/	川西 宏和

Aコート 男子 第3試合

く得点>

山梨学院 : 47分 原山

早稲田 <戦評>

本日、好カードの1つ、男子2回戦、早稲田大学対山梨学院大学の試合は、早稲田のセンターパスにより前半戦が開始された。立ち上がりから両チームとも激しい攻防が続き、互いに得点チャンスをうかがう。この試合、最初にPCを取得しチャンスを得たのは早稲田。しかし、山梨のGK#1山崎の好セーブにより得点には繋がらない。対する山梨もPCを取得するものの相手のDFに阻止され、得点を得ることが出来ない。激しいゲーム展開が続き両チーム無得点のまま前半を終了した。

後半も一進一退の攻防が続く。前半に増して山梨の攻撃は更に激しくなる。均衡を破ったのは山梨。47分に#8原山が相手の隙間から強烈なリバースシュートを放ち、先制点を挙げる。1点を返したい早稲田はPCを取得するも、相手ゴールを脅かすことは出来ない。その後、両チームともPCを取得し、チャンスを得るが、得点には繋がらない。そのまま山梨が逃げ切った。1-0で山梨が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テ	・クニカルオフィサー	長田 和雄	マンパイマ	細川 祐司
	ジャッジ	東原 宏明		松島 孝治

Aコート 男子 第4試合

<得点>

東海学院 : 6分 9分 68分 寺田

明治 : 3分 若槻、28分 小櫻、59分 辻谷

く戦評>

明治大学のセンターパスにより前半戦が開始された。試合開始3分、明治#9若槻が先制点を押し込んだ。対する東海学院大学も#11寺田がダイレクトシュートを決め、同点とする。更に9分#8山部からのセンターリングを#11寺田がタッチシュートで決め、明治を引き離す。激しい攻防が続く中、明治がPCを取得。#12松山のストレートに#7小櫻がうまく合わせ、ゲームを振り出しに戻す。両チームー歩も譲らないまま、前半が終了した。

後半に入っても、一進一退の攻防が続く。46分明治がPCを取得。得点のチャンスを得るが東海学院#6坂井の好セーブに阻止される。49分東海学院がPCを取得。チャンスを得るが、決めきることが出来ない。59分明治#3 辻谷が#7小櫻からのセンターリングを決めリードする。このまま試合終了かと思われた68分、東海学院#11寺田がこの試合、3点目となるプッシュシュートを決め、明治に追いつく。その後、両チーム得点のないまま試合は終了となりPS戦へともつれ込む。

PS戦は東海学院が先攻。1本目、東海学院#2井島が左上を狙ったがポストに跳ね返された。明治#8藤田が左下を狙い、得点する。2本目、東海学院#11寺田、明治#9若槻が共に決める。3本目、東海学院#6酒井が左上を狙うがポストに当たり、得点にはならない。対する明治は#15藤井が確実に決める。4本目、東海学院は#9木

テクニカルオフィサー	出橋 英児	マンパイマ	成田 健一
ジャッジ	櫻本 一幸	12/19	柳 承辰

Aコート 男子 第5試合

く得点>

学習院 : 16分 64分 柴田 甲南 : 42分 柳本

<戦評>

学習院大学のセンターパスにより前半が開始された。8分甲南がPCを取得。しかし、うまく合わせることができず、得点にはならない。16分、学習院がPCを取得。#2柴田がドラッグで確実に決め、先制点を挙げる。26分甲南は再びPCを取得しチャンスを得るが、決めきることが出来ず、追いつくことが出来ない。両チームー歩も引かないゲーム展開となり、そのまま1-0で前半を折り返した。

後半も前半に引き続き、両チームとも譲らない試合となる。38分、甲南がPCを取得するものの決めきることが出来ない。しかし、42分#5柳本がこぼれ球を拾い、フリーでシュートし、振り出しに戻す。学習院も速攻で攻め込むが、相手の粘り強いDFでなかなかシュートが出来ない。52分、甲南はPCを取得するも、学習院#6佐藤に止められ、得点には結びつかない。両チーム競り合う中、64分、学習院はPCを取得。#2柴田がドラッグで2点目を挙げる。そのまま逃げ切り、学習院が2-1で勝利。明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	苅谷 和代	マンパイマ	塚本 善士
ジャッジ	宇都宮 公一	12/19	武智 英紀

Aコート 男子 第6試合

<得点>

東京 : 4分 佐藤

富士 34分 太田代、54分 藤本

<戦評>

東京大学のセンターパスにより前半が開始された。4分PCを取得した東大は#7佐藤がタッチシュートで先制する。勢いに乗った東大は更に相手陣内へと攻め込む。流れを変えたい富士大だが、相手の素早いインターセプトや粘り強いDFに得点することが出来ない。34分PCを取得した富士大は#3太田代が見事なドラッグを決め、東大に追いつく。ゲームは振り出しに戻り、前半戦を折り返した。

後半に入ると、1点を争い、前半にも増して攻防が激しくなる。36分、37分に富士大がPCを取得するが、東大のGK#1小谷が好セーブを見せ、得点することが出来ない。徐々に富士大が攻める場面が多くなる。東大も、粘り強いDFをするが、54分、富士大がPSを取得。#8藤本が確実に決める。1-2とされた東大は、速攻で相手陣内へと攻め込むが、得点には結び付かない。試合はこのまま富士大が逃げ切り試合は終了。1-2で富士大が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	長田 和雄	マンパイマ	石橋 徹也
ジャッジ	下島 多美子	12/19	栗原 崇

Bコート 女子 第1試合

く得点>

聖泉 : 2分 中島、35分 下河、45分 小林、57分 塚原

東海 <戦評>

聖泉大学のセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から勢いのあるプレーを見せたのは聖泉。 2分#4中島がプッシュシュートを決め先制する。東海大学も相手陣内に攻め込み、24分PCを取得するも、得点には繋がらない。その後、聖泉が優位に試合を進め、35分#11下河がリバースシュートを決め、2-0で前半戦を折り返した。

後半戦が始まり、一進一退の攻防が続くが、両チームともなかなか得点には結びつかない。試合が動いたのは45分。聖泉#8小林がリバースシュートで得点をする。53分、東海はPCを取得するが決めきることが出来ない。聖泉は57分PCを取得し、#22塚原がタッチシュートを決める。4-0で聖泉が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	出橋 英児	マンパイマ	鷲尾 尚子
ジャッジ	原野 裕子	12/19	原口 淳一

Bコート 女子 第2試合

く得点>

早稲田

東京農業 :

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより前半が開始された。両チーム激しい攻防が続く中、早稲田大学がPCを取得するも、得点にはならない。対する農大もPCを取得するが、得点には結びつかない。早稲田のペースで試合が展開されるものの、チャンスを生かすことが出来ず、両チームとも無得点のまま前半戦を折り返した。

後半に入っても一進一退の攻防が続く。早稲田やや優位のままゲームは展開される。決定的なチャンスを得ることはできず、両チーム無得点のまま試合は終了。PS戦となる。

PS戦は農大が先攻。1本目、農大#2千葉が左すみに決め、早稲田#3末森も右上に決める。2本目、農大#3有野、早稲田#17中道も冷静に決める。3本目、農大#9嵯峨野が左すみに決める。早稲田#6荒川は左上を狙うも、GKのナイスセーブにより、決めきれない。4本目、農大#10蓮池が左下を狙ったシュートはGKに阻止される。早稲田#8西村が左上に決め同点とする。5本目、両者共に得点し、サドンデスへと持ち込まれた。先攻の早稲田は#15高城、農大は#2千葉が得点する。2本目早稲田#8西村が右下を狙うがGKが好セーブする。農大#3有野が左上を狙ったシュートは惜しくもゴールを逸れ、サドンデスは続く。3本目、早稲田#3末森、農大#9嵯峨野が得点した。4本目、早稲田#17中道が左すみに決める。農大#5阪口は左下を狙うが、GKがこれを阻止した。PSは7-6で早稲田が勝利した。

テクニカルオフィサー	野澤 光代	マンパイマ	樋口 修
ジャッジ	下島 多美子	12/14/	圷 耕一

Bコート 男子 第3試合

く得点>

東京農業 : 54分 大田 立命館 : 41分 51分 伊藤

く戦評>

本日の男子好カードの1つ、立命館大学対東京農業大学の試合は、立命館のセンターパスにより前半が開始された。立命館は激しい攻撃を仕掛けるが、農大の粘り強いDFに苦戦する。20分、35分と立命館はPCを取得するが、農大#16GK五島を中心とするDF陣の好セーブにより、得点を挙げることが出来ない。両チーム無得点のまま前半戦を折り返した。

後半戦も立命館の激しい攻撃は止まらず、41分、51分とPCを取得し、共に#5伊藤のドラッグで2-Oとなった。東農も負けずに反撃を繰り返すが、立命館#1村上を中心としたDFに苦しむ。対する東農は54分PCで#1大田がドラッグを決め、1点をとり返す。その後、立命館が攻め入るが、農大#16GK五島を中心としたDFの好セーブに、そのまま2-1で立命館が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	境山 博之	アンパイマ	小原 直也
ジャッジ	宇都宮 公一	アンハイア	野澤達

Bコート 男子 第4試合

天理大学
$$3\begin{pmatrix} 1-1\\2-1\end{pmatrix}$$
 2 法政大学

く得点>

天理 : 30分 55分 58分 下市 法政 : 4分 朝倉、45分 古川

く戦評>

法政大学のセンターパスにより前半が開始された。立ち上がり勢のある法政は、4分#9朝倉がダイレクトシュートで得点し、1-0とする。その後、天理が反撃を見せ、ゴールを狙うが、得点を決めることが出来ない。30分、天理はPCを取得。#3下市が豪快に決め、1点を取り返し、1-1で前半を折り返した。後半に入り、互いにゴールを譲らない戦いとなる。45分法政#14古川が混戦から得点し、リードする。天理も反撃を見せるが、GK#18新本の好セーブでなかなかゴールを割ることが出来ない。しかし、55分、58分と天理がPCを取得。#3下市がストレートで決め、逆点する。その後も接戦が続くが2-3で天理が勝利し、明日の準々決勝へ駒を進めた。

テクニカルオフィサー	草野 妥彦	マンパイマ	相馬 知恵子
ジャッジ	原野 裕子		高橋 英行

Bコート 男子 第5試合

く得点>

関西学院 : 70分 松延 駿河台 : 35分 由澤

く戦評>

駿河台大学のセンターパスにより前半が開始された。駿河台はパスを繋ぎ、積極的に攻撃を仕掛ける。一方、関西学院大学はドリブルで相手コートに攻め入る。前半終了間際、駿河台がPCを取得し、#22関谷がフリックでシュートを決め、0-1で駿河台がリードし、前半戦を折り返した。

後半に入り、リードを広げたい駿河台が果敢に攻めるが、なかなか得点に結びつかない。関西学院も相手陣内に 攻め入るが、駿河台の堅い守備により、サークルに入れない。このまま試合は終わると思われた70分、関西学院 #9松延が混戦を押し込み同点とした。

PS戦は関西学院が先攻。1本目は関西学院#2松田がGK股下にゴールを決めた。対する駿河台#22関谷は左下を狙うもGKに止められ得点にはならない。2本目、関西学院#10大西は右下に確実に決め、駿河台#13佐々木も左上に決めた。3本目、関西学院#5加藤は右下に決め、駿河台は#2高田が右下を狙うもGKの好セーブにより得点が出来ない。4本目、関西 学院#9松延が左上を狙うが、ボールは枠外に飛び、得点には繋がらない。一方、駿河台は#23引木が左下へ確実に決め、ピンチを防ぐ。しかし5本目、関西学院#8中島が左下を狙い得点した。PSは4-2で関西学院が勝利し、明日の準々決勝へと駒を進めた。

テクニカルオフィサー	野澤光代	マン・パノマ	重森 誠
ジャッジ	平沢 美由紀	アンハイア	渡邉 道彦

明日の組み合わせ 〈Aコート〉

合わせ 〈Aコート〉		
大阪体育大学	0 - 0) 立命館大学
東海学院大学	0 0	》 駿河台大学
山梨学院大学	0 - 0) 学習院大学
	(-)	
慶應義塾大学	0 - 0	明治大学
	(-)	
天理大学	0 - 0	聖泉大学
	(-)	
日報四十二		山利巴哈士普
毕稲田 大子	0 0	山梨学院大学
	(-)	
= <u>_</u>		上
畠 工大字	0 0	立命館大学
工理 +尚		11年 学院 十 学
大理人子	0 0	関西学院大学
	大阪体育大学 東海学院大学 山梨学院大学 慶應義塾大学	大阪体育大学 0 - 0 東海学院大学 0 - 0 山梨学院大学 0 - 0 慶應義塾大学 0 - 0 早稲田大学 0 - 0 富士大学 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0